

令和8年度上期 自己評価書・関係者評価書

学校名 泉小中学校

4 - と思う

3 - どちらかといえばと思う

2 - どちらかといえばそう思わない

1 - そう思わない

学びに満足

意欲的な学習態度

個に応じた指導

授業作りの工夫

1

2

3

子供は、やる気をもって授業を受けることができますか。

子供は、わからないことがあれば何とか解決しようと粘り強く努力していますか。

子供は、授業の中で、自分の考えをもち、意見交流しながら考えを深めることができますか。

保護者

児・生

教職員

泉学舎

50%

44%

8%

73%

23%

23%

77%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

27%

67%

7%

66%

34%

62%

38%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

25%

75%

3%

67%

30%

17%

75%

読書活動の推進

ふるさとへの誇りと継承

家庭学習の連携

4

5

6

子供は、目標とする冊数をめざして進んで本を読んでいますか。（小1、2・・・100冊 小3、4・・・80冊 小5、6・・・60冊 中・・・30冊）

子供は、泉町の昔のことや仕事のこと、伝統文化について関心をもっていますか。

子供は、自分自身にあった時間や内容の家庭学習を行っていますか。

保護者

児・生

教職員

泉学舎

30%

30%

40%

0%

39%

23%

19%

19%

47%

47%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

14%

71%

14%

63%

30%

3%

23%

69%

8%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

38%

50%

13%

53%

40%

7%

8%

58%

33%

1～6の項目については、児童生徒及び教職員は概ね高い肯定的評価を示しており、授業への意欲や主体的に学ぼうとする姿勢が育っていることがうかがえます。特に、「授業への意欲」や「粘り強く努力すること」については、校内研修における教職員の授業力向上の取組を中心に児童生徒を主体とした学習展開がなされており、高い評価が得られています。

一方で、保護者評価では「家庭学習」や「読書活動」に課題意識が見られ、学校での学びの様子と家庭での学習状況との間に認識の差が見られます。学校での学びを家庭学習につなげ、より確かな学びの推進に向けて、さらに指導・支援を充実させる必要があります。また、「自分の考えをもち、意見交流しながら考えを深めること」についても、児童生徒や教職員に比べ保護者評価がやや低いことから、学習過程や児童生徒の成長の様子を家庭へより積極的に発信していく必要があります。

いのちに満足

一人一人の児童の尊重

道徳、心の教育の充実

いじめ・不登校の防止

7

8

9

子供は、生活の中で友達と認め合ったり、支え合ったりすることができますか。

子供は、日常生活の中でお互いに意見を出し合い、話し合いをすることができますか。

子供は悩みや困ったことがあったとき、気軽に相談したり、困っている友達に進んで声をかけたりしていますか。

保護者

児・生

教職員

泉学舎

47%

53%

0%

77%

23%

38%

62%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

33%

67%

0%

70%

27%

3%

54%

38%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

80%

13%

3%

61%

35%

50%

43%

基本的生活習慣と体力向上

健康教育の充実

食育の推進

10

11

12

子供は、自分の生活習慣や体力の状況を知り、改善しようと努力していますか。

子供は、むし歯の予防や治療を心がけていますか。

子供は、自分自身の食生活について関心があると思いますか。

保護者

児・生

教職員

泉学舎

31%

44%

25%

60%

40%

0%

46%

38%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

44%

44%

13%

63%

33%

3%

46%

46%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

19%

56%

13%

13%

59%

31%

10%

23%

77%

安全教育の徹底

見守り活動の充実

美しい環境整備

13

14

15

子供は、危険を察知し、事故やケガを回避しようと心がけていますか。

子供は、多くの人に見守られて安全に登下校できていますか。

子供は、美しい環境づくりに自ら取り組んでいますか。

保護者

児・生

教職員

泉学舎

38%

56%

4%

79%

18%

43%

50%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

63%

38%

3%

93%

3%

27%

67%

保護者

児・生

教職員

泉学舎

23%

69%

8%

80%

13%

73%

20%

令和8年度上期 自己評価書・関係者評価書

学校名 泉小中学校

■ 4 - と思う ■ 3 - どちらかといえばと思う ■ 2 - どちらかといえばそう思わない ■ 1 - そう思わない

7～15の項目については、児童生徒及び教職員は概ね高い肯定的評価となっており、安心して学校生活を送るための教育活動が推進されていることがうかがえます。特に、友達との関わりや安全な登下校、ふるさとへの関心等については、保護者や地域の方々のご協力等のおかげで高い評価が得られています。

一方で、「悩みや困ったことを相談すること」「意見を出し合い話し合うこと」「生活習慣や健康づくり」については、保護者の課題意識が見られます。また、児童生徒同士の関わりや心の成長については、学校での様子が家庭から見えにくい面も考えられるため、教育相談体制や日常の取組について丁寧な周知を行う必要性がうかがえます。

くらしに満足

自己有用感を育む児童会・生徒会活動の充実

体験や社会交流活動の推進

地域との連携強化・充実

16

児童会・委員会・生徒会は、活動が充実していると思いますか。

保護者	25%	75%	
児・生	63%	33%	0%
教職員	73%	20%	
泉学舎			

17

子供は、体験活動や交流活動に楽しそうに参加していますか。

保護者	67%	33%	
児・生	68%	16%	16%
教職員	33%	67%	
泉学舎			

18

子供は、地域の方々に感謝の心をもってあいさつができていますか。

保護者	40%	60%	
児・生	68%	26%	
教職員	7%	80%	13%
泉学舎			

積極的な情報発信

小中一貫教育の充実

19

子供や学校は、ふるさと泉のよさを知ったり、伝えたりしていますか。（学校：学校だより、ホームページ等）

保護者	31%	62%	8%	
児・生	60%	27%	10%	3%
教職員	43%	43%		
泉学舎				

20

学校は、義務教育9年間を見据えた指導を行っていると思いますか。

保護者	36%	64%	
児・生	81%	19%	0%
教職員	36%	57%	7%
泉学舎			

21

学校は、少人数の学びの良さを生かして、子供たちへの効果的な指導を行っていると思いますか。

保護者	50%	50%	
児・生	65%	35%	0%
教職員	43%	50%	
泉学舎			

小中一貫教育の充実

意欲的な学校生活

22

学校は、小学校・中学校の発達段階を大切にした指導を行っていると思いますか。

保護者	38%	63%	3%
児・生	77%	19%	0%
教職員	40%	53%	7%
泉学舎			

23

子供は、学校を楽しんでいると感じていますか。

保護者	80%	20%	
児・生	83%	17%	0%
教職員	47%	47%	7%
泉学舎			

16～23の項目については、児童生徒、保護者ともに高い肯定的評価を示しており、学校生活への満足度は高い状況にあります。特に、「学校が楽しい」「地域とのつながり」「小中一貫教育」「少人数指導のよさ」について高い評価が得られています。

また、泉町の地域資源を生かした体験活動や地域学校協働活動が、児童生徒の自己有用感やふるさとへの愛着の醸成に大きくつながっていると考えられます。

一方で、「学校や子供によるふるさとの発信」や「情報発信」に関しては、学校側が実施している取組に比べ保護者の理解や認知度に差が見られるようです。学校教育活動の成果や児童生徒の活躍の様子について、本年度は学校HPで積極的に発信し、多くの閲覧者数を集めておりますが、さらに効果的な発信を検討する必要があります。

下期での具体的な取組について

学校関係者からいただいたご意見等をもとに、下期では以下の取組により学校教育目標の達成に向けて教育活動を展開して参ります。

《学びに満足》

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、自分の考えを表現し対話を通して学びを深める授業づくりを推進します。
- 家庭学習の内容や取り組み方について家庭との連携を強化し、自ら学ぶ力の育成を図ります。
- ハッピーブック運動や朝読書等を継続し、読書習慣の定着と読書意欲の向上に努めます。

《いのちに満足》

- 心のアンケートや教育相談を充実させ、児童生徒が安心して相談できる環境づくりを継続します。
- 学級活動や児童会・生徒会活動を通して、自他を尊重し認め合う人間関係づくりを推進します。
- 基本的な生活習慣や健康づくり、歯科保健、食育について家庭との連携を深めながら継続的に取り組みます。
- 防災教育や安全教育、地域の見守り活動との連携を通して、自ら命を守る力の育成を図ります。

《くらしに満足》

- 地域学校協働活動や体験活動を継続し、ふるさと泉への誇りと愛着の醸成を図ります。
- 小中一貫教育の特色を生かした教育活動を推進し、9年間を見通した成長を支援します。
- ホームページや学級通信、各種配信媒体を活用し、引き続き、児童生徒の学びや活躍を積極的に発信します。

《その他》

- 「学びに満足」「いのちに満足」「くらしに満足」について一体的に取り組み、引き続き、児童生徒一人一人が安心して楽しく学べる学校づくりを推進します。
- 保護者の多くは子供の教育に高い関心を示している一方で、学校運営や教育活動への参画意識には差が見られます。アンケート未回答者が一定数存在することは、学校側の情報伝達の課題に加え、学校評価の意義や学校との協働意識が十分に共有されていないことも要因として考えられます。今後は教育活動の成果や教職員の取組を積極的に発信するとともに、保護者の意見が学校改善に反映されていることを可視化し、学校と家庭が協働して子供を育てる意識の醸成を図っていく必要があると考えております。